



令和2年が始まって早1か月。3学期が始まって3週間余りが過ぎました。今学期は3か月に満たない短い学期ですが、1年を振り返るとともに、新しい学年を意識し、どのような自分になろうかと考える学期です。一人一人がどんな成長を見せてくれるか楽しみです。

校庭に桜の木が仲間入りをしました

今年度の「緑の募金による指定校緑化事業」で、二宮小学校が指定校として選ばれました。これは、緑の募金を熱心に行い、緑化について関心の高い学校が指定されます。子どもたちの熱心な募金のおかげで、モクレン（学童の部屋の前）の両側に桜（ソメイヨシノ）の木を植えることができました。季節を感じられる樹木が学校に増えたことは、子どもたちの心を耕すことにつながると思います。春には入学・進級の喜びに花を添えてくれることでしょう。



1月の学習・生活より

新年の決意新たに全学年で書初めを行いました。1年生は「ふじ山」、2年生は「はつ日の出」、3年生は「美しい心」、4年生は「流れる星」、5年生は「進む勇氣」、6年生は「新たな決意」です。1・2年生は鉛筆やペンで、3年生以上は毛筆の学習を生かして筆で書きました。新年に静かな教室で真っ白な紙に真剣に文字を書く。大切な学習です。



1月16日(木)、6年生の音楽の学習として箏・尺八教室が開かれました。この教室は、「日本の楽器の音色を味わってきこう」の学習で行われたものです。当日は、箏、尺八それぞれの先生に来ていただき、楽器の歴史や材料、



演奏の仕方などのお話を伺った後、生の演奏を聴きました。これまでほとんど聴いたことのない楽器の音に、静かに真剣に耳を傾ける6年生の姿がありました。また、実際に触れる機会もあり、楽器への理解も深まったようです。これも地域の方にご協力いただいている学習の一つです。

次に、1月25日(金)に開かれた「にのプロ」について紹介します。今回から、交流班で班長・副班長を務めてくれた6年生に代わり5年生が中心となります。この日の活動は、「これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを込めてメッセージを書こう」でした。6年生からバトンを受け継いだ5年生は、初めての役割に緊張しながらも、今日の活動のめあてや6年生との思い出の場面、メッセージカードの書き方などを下級生に一生懸命説明していました。実際のカード作りでは、下級生一人一人を見て回り、アドバイスする姿もありました。3か月後には最上級生になる自覚が芽生えてきているのでしょうか。



下級生はお世話になった6年生のことを思い浮かべながらカードに気持ちを書く、プレゼントされた6年生は思い出を振り返りながら下級生の思いを知る、毎年行っていることですが、これからも大切にしていきたい活動です。

1月28日(火)に全校児童が集まっての音楽集会が開かれました。はじめに月の歌「Iはメーゴーラット」を音楽委員会の演奏に合わせて歌った後、映画「メー・ホピソ」の劇中歌「スーパースター・リスティック・エクス・アクト・シャス」と「千本桜」の2曲の演奏を聞きました。音楽委員会の子どもたちは、この日の発表に向けて、運動会が終わった6月から半年以上かけて練習を続けてきました。子どもたちは、演奏が始まった瞬間に釘付けとなり、最後に大きな拍手を送っていました。



